

# てっぺんめざして

神戸学院大学 人文学部 人文学科 1回生 矢嶋ゼミ

川野 with 愉快的な仲間たち (川野・徳永・松本・山下)

2013年12月1日、明石の魚の棚にある「八百屋のてっぺん魚の棚店」へ行き、社長の辰巳太一氏にお話を伺いました。



## 合言葉は「とにかく安く」

辰巳さんに八百屋を営んでいく上でのモットーを質問しました。辰巳さんのモットーは、安く商品を提供すること、食卓に笑顔を増やすこと、なによりもお客様に喜んでもらうことなどたくさんありました。私たちが最も感動したのは、失敗してもいいからチャレンジすること。辰巳さんは、大学生である私たちにも色々なことにもっとチャレンジしてほしい、と背中を押してくれました。また、辰巳さんが営む八百屋「てっぺん」という名前は、知り合いの居酒屋さんの名前から名づけられたそうなのですが、八百屋のてっぺんをとりたいたい！という思いがあるそうです。

## 前へ、前へ

お店の品ぞろえを見ると、兵庫県産く、多くの地域の野菜が店棚に並んでい

辰巳さんによると、仕入れ先は全国の野菜が集まる神戸だそうです。神戸の市場はとにかくものが多く、掘り出し物が多いそうです。辰巳さんの宝探し感覚の遊び心がうかがえました。

店棚を見わたしてみると、一般的な八百屋さんには売っていないであろう数の子が置いてありました。これはお客様の要望で置いているとのこと。 「てっぺん」に来たら、ちょっと変わった商品が並んでいるかもしれませんよ。

辰巳さんが商品を配置する際に工夫していること、それは「商品をとにかく前へ、前へ」ということです。スーパーとは違い、様々な陳列方法やお客様への対応が可能なので自分で商店に関することを決められるのが個人店舗の利点だ、ということも言っていました。自分の努力次第で大きな店にも勝てる！と力強く言っていた姿がとても印象に残っています。

辰巳さん自身はあまり野菜を食べないそうだよ



辰巳さんは今後の「てっぺん」をもっと地域密着型の愛されるお店にしたい！と笑顔で言っていました。

現在、2店舗を展開されていますが もっとほかの地域にもどんどんだしていきたい、とこたえてくれました。

辰巳さんの明るさと笑顔で、もっと多くの人を幸せにしていける「てっぺん」の今後がとても楽しみです！！

